資料４

第５次千葉市生涯学習推進計画の進捗管理及び評価方針（素案）

第５次千葉市生涯学習推進計画（以下、「計画」という）では、施策を推進するための目的・目標として「成果指標」を設定しているほか、施策の具体的な進捗状況を測る目安として、アクションプランの主として新規・拡充事業に目標を設定しました。

教育の成果は全体を一元的に数値で表すことが難しい面があります。例えば、「公民館での活動が活発であるかどうか」についても、稼働率のように数値で把握できるものもあれば、意欲など数値化しにくいものもあります。

また、目標の達成が教育施策の成果によるものか、社会状況の変化等他の要因が関係しているのかということを厳密に把握することも困難です。

このような状況を勘案したうえで、計画の成果を測る一つの物差しとして、数値で表すことができる指標を設定しましたので、以下の方向で進捗管理及び評価方針を定めることを検討しています。

１　目的

計画に掲げる「学びを通して地域がつながるまち　千葉市」の実現に向けた各種施策を推進するため、計画の進捗管理の把握や評価・分析など、ＰＤＣＡサイクルによる進行管理を行うとともに、様々な主体と目標や進捗状況・評価結果を共有し、中間年度（平成３１年度）に予定しているアクションプランの見直しや次期計画の策定などに活用する。

２　進捗管理

（１）対象　　**「施策」**ごとに実施する。

①成果指標（10 指標）、②アクションプラン（21 事業）

（２）時期　　各年度の決算期に実施する。

（３）管理方法

①成果指標　【別表１】

各指標について、目標値（中間目標値または最終目標値）に対する現状値を比較し、達成状況を４段階に分類する。　　（指標№4･5･10 は、H30 及び H34 のみ実施）

②アクションプラン【別表２】

目標を設定したアクションプランごとに目標に対する実績を比較し、進捗状況を５段階に分類する。

３　最終・中間評価

（１）対象　　**「施策」**ごとに、成果指標を基に実施する。

（２）時期　　最終評価を平成３４年度に、中間評価を平成３１年度に実施する。

（３）評価方法　【別表３】

施策ごとに指標の達成状況の合計点を平均化し、評価区分を５段階（A～E）に分類する。

【別表１】成果指標の達成状況評価基準（毎年度実施）

各指標について、直近の目標に対する現状値を比較し、達成状況を４段階に分類する。

直近の目標＝平成２８～３０年度：３０年度末目標、平成３１～３３年度：３３年度目標

区分	説明
◎	現状値が直近の目標値以上
○	「現状値と計画前実績値の差」が「直近の目標値と計画前実績値の差」に対し、６０％以上（現状値は目標値未満）
△	「現状値と計画前実績値の差」が「直近の目標値と計画前実績値の差」に対し、６０％未満（現状値は目標値未満）
×	現状値が計画前実績値未満

【別表２】アクションプランの進捗状況評価基準（毎年度実施）

順　調	計画に対し、概ね計画通り進捗している。 中間年度の目標に対し、定量的に事業量を測れる事業は８割以上の進捗を目安とし、その他の事業は目標からの遅延・乖離がないかを目安とする。
達　成	計画事業が計画期間の途中で終了するもの
遅　れ	計画に対して事業進捗に遅れが出ている又は事業規模を縮小したもの
休　止	事業を休止し、次年度以降に再び実施する予定
中　止	事業を中止し、今後も実施しない

【別表３】中間・最終評価基準（中間・最終年度の２回実施）

施策ごとに指標の達成状況の合計点を平均化し、評価区分を５段階（A～E）に分類します。

配点：◎＝５点、○＝３点、△＝１点、×＝－１点とする

評価区分	説明	平均点
A	目的を十分達成している （目的達成に向けて十分成果が現れている）	4.5 点以上
B	目的をかなり達成している （目的達成に向けてかなり成果が現れている）	3.0 点以上 4.5 点未満
C	目的をある程度達成している （目的達成に向け順調に成果が現れている）	1.5 点以上 3.0 点未満
D	目的をあまり達成していない （目的達成に向けあまり成果が現れていない）	0 点以上 1.5 点未満
E	目的を達成していない （目的達成に向け成果が現れていない）	０点未満

（かっこ書き）は、中間評価における標記

参考例

１．進行管理評価イメージ

【別表１関連】成果指標の達成状況

成果指標　　計画前実績値：30.0% ⇒ H30 年度末（中間目標）：50% ⇒ H33 年度（目標）：80.0%

	H28～30 年度現状値	H31～33 年度現状値
◎	50.0%以上	80.0%以上
○	42.0%以上 50.0%未満	60.0%以上 80.0%未満
△	30.0%以上 42.0%未満	30.0%以上 60.0%未満
×	30.0%未満	30.0%未満

【別表２関連】アクションプランの進捗状況（毎年度実施）

例：アクションプランの進行管理

順調：○○指導員の配置拡充（目標：５人増員）

→４人の増員

遅れ：○○事業の推進（目標：実施）

→内部検討に留まり具体的な実施事項なし

中止：○○設備改修の充実（目標：○○館で実施）

→工事計画の変更に伴い中止

２．中間・最終評価に関する参考例

【別表３関連】総合評価基準（中間・最終の２回実施）

○中間最終評価（H31 年度実施）：中間目標値に対する H30 現状値を比較

成果指標	H28	H29	H30	評価
①	○	◎	○（3）	2.0
②	◎	◎	△（1）	**C**

○最終評価（H34 年度実施）：目標値に対する H33 現状値を比較

成果指標	H28	H29	H30	H31	H32	H33	評価
①	×	×	△	○	○	◎（5）	4.0
②	◎	◎	△	○	○	○（3）	**B**

＊H28～30 年度の達成区分についても、目標値と比較し再分類し、全体傾向を把握する。